

1. 研究活動

◎執筆			
1 Victor D'Amico Now at MoMA & Art Barge	2009. 12	名古屋芸術大学（大学研究助成の調査報告冊子全ページ）	ニューヨーク近代美術館教育部の活動の2007&2008年の現地調査報告。
2 「教育普及活動大学教育との連携」	2010. 12	名古屋ボストン美術館 (p49)	名古屋ボストン美術館の開館10周年を記念冊子「Arts Crossing～通いあう美の交差点～」に執筆。
3 「ビクトル・ダミコ研究：ダミコが語る 生涯とその仕事—2—」	2010. 3. 26	名古屋芸術大学研究紀要第31巻 (p387-p405)	ビクトル・ダミコ（ニューヨーク近代美術館初代教育部長）の1974年の講演原稿の全訳。
4 経験的ワークショップ—子どもと学生、シニアと学生のかかわりから—	2010. 3. 30	武蔵野美術大学 (p181-p185)	「造形ファシリテーション能力獲得プログラム」2009年度報告書（監修高橋陽一）
◎発表／講演			
1 全国美術教育研究会「愛知大会」高校部門発表会助言	2009. 11. 19	旭丘高校	「鑑賞」に関する発表授業に助言者としてコメントを与える。
2 （上記「執筆2」）シンポジウム発表「ワークショップとは？ ファシリテーションとは？」	2010. 2. 11	武蔵野美術大学新宿サテライト	荻宿俊文、高橋直裕、齋 正弘らとともに表題に関するシンポジウムのパネラーとして発表。
3 基調講演「横浜美術館『子どものアトリエ』とニューヨーク近代美術館の教育活動～その精神的同時代性について～」	2010. 3. 13	横浜美術館	横浜美術館子どものアトリエ20周年記念シンポジウム「学校教育と美術館」の基調講演。
◎ワークショップ			
1 「いまひまか？ しる？ つくる？」	2010. 1. 17	一宮市博物館	「くらしの道具～今と昔から」展で海の暮らしを知るための美術のワークショップ（松村淳子、西田雅彦らと実施）。
インタビュー			
1 「インタビュー：山村浩二 アートアニメーション：可視化できない心の中にもっている映像」	2010. 3. 31	芸術批評誌【リア】 (p4-p11)	アニメーション作家山村浩二に『アートアニメーション』に関するインタビューを行う。
◎審査員			
1 「旧加藤邸アートプロジェクト2009」	2009. 10. 31～11. 8	名古屋芸術大学北名古屋市教育委員会	「旧加藤家」で行う学生の展覧会を企画した庄司 達教授のプロジェクト「旧加藤邸アートプロジェクト」に作品選出の審査員及スタッフ。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績） 大学院授業担当 有 無

授業科目 教養講座人間「美術と英語」	
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要

<p>受講生の専門分野に関する制作作品をもとに英語の会話およびライティングを学ばせ、最終的に数ページの英文によるポートフォリオを作成する。将来に向け実質的に有効な授業内容として工夫している。また海外アーティストに学生との英語での交流の日を設けた。</p>		<p>総合的に学べるように、Moodle を使い、PC (イラストレータ、フォトショップ) によるページレイアウトなども含んでいる。</p>
<p>授業科目 アートワークショップ研究</p>		
<p>◆前期 ◆後期</p>		
<p>工夫の概要</p>	<p>教材・資料等の概要</p>	
<p>前期：平成 21 年 5 月 24 日に『ゴーギャン展』(名古屋ボストン美術館) 関連ワークショップ実施。後期：平成 22 年 1 月 16 日に『永遠(とわ)に花咲く庭』(名古屋ボストン美術館) 関連ワークショップ実施。各展覧会の特徴を踏まえ、学生が興味のある作品をもとに企画案を作成し実行するもの。</p>	<p>2 年生全員が美術館でギャラリートークとワークショップ活動を企画実践するもの。ビデオ機材とクロマキー機能を使用。</p>	
<p>授業科目 地域文化研究</p>		
<p>◆前期 □後期</p>		
<p>工夫の概要</p>	<p>教材・資料等の概要</p>	
<p>イベント「みんなのカルタ」を実施。「回想法センター」のシニアが考えたカルタのオリジナル文に学生が絵を描いたコラボ・カルタ制作。さらに大学に 50 名を招き、「学食体験」や「学内見学」を含む「カルタ大会」を実施。学生がオリジナルに案内冊子も作成。</p>	<p>書籍「回想法」</p>	
<p>授業科目 大学院「芸術計画演習」</p>		
<p>□前期 ◆後期</p>		
<p>工夫の概要</p>	<p>教材・資料等の概要</p>	
<p>平成 21 年 12 月 22 日「日本画ワークショップ」(陽だまりハウス) 実施。平成 21 年 12 月 24 日「版画ワークショップ」(回想法センター) 実施。大学院生の各専門分野を生かしたワークショップ。</p>	<p>日本画材をワークショップ会場に参考展示。版画内容の説明資料。</p>	

3. 学会等および社会における主な活動

「アートエデュケーション研究会」 発足	2009. 12 発足	愛知県下の教育普及担当学芸員の研究会。平成 21 年 12 月に愛知県陶磁資料館佐藤一信学芸員の相談を受け、立ち上げる。
アニメーション学会		
美術科教育学会		